
令和7年度 卒業式 校長式辞

門出のお祝い

3月に入り暖かい日も多く、春の訪れを様々なところで感じます。卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。本日、ここに練馬区立開進第一小学校の第144回の卒業式を挙行できますこと、また御多用の中、御臨席賜りました御来賓の皆様、保護者の皆様と共に、106名の門出を祝福できることを教職員一同、心より感謝申し上げます。

困難を乗り越えた六年間

先ほど一人一人に卒業証書を渡しましたが、本当に凜々しくよい表情で立派でしたよ。今、皆さんはどんな思いでそこに座っていますか。「もっと小学校に行かなかった。」「早く中学生になりたい。」「友達や先生と別れるのが辛い。」様々な感情があるでしょう。卒業式というのは、そういういろいろな思いをもつ式なのです。

思い起こせば6年前、「小学校楽しみだな。頑張るぞ!」と、思って入るはずでしたが、入学式を終えた直後、待っていたのは新型コロナウイルス感染症の影響で「いきなりの休校」という、誰も予想しなかった事態でした。新しい友達に会うことも、楽しみにしていた学校に通うこともできず、自宅で過ごす不安な日々から皆さんの歩みは始まりました。

6月から登校できるようになったものの、マスクを着用し、三密を避けるという我慢を強いられた日々だったでしょう。しかし、2年生、3年生と学年が上がるにつれ、少しずつ制限が解かれ、皆さんは失われた時間を取り戻すかのように、一歩ずつ力強く成長してきました。我慢を強いられた経験があるからこそ、皆さんは当たり前前の日常の尊さを、誰よりも深く知っているはずです。

最高学年としての功績

私は、昨年度から本校の校長に着任しましたので、皆さんが4年生のときから共に過ごしてきました。4月、国語の授業に私を招待してくれて「校長先生へのインタビュー」ということで、いろいろ質問してくれましたね。学ぶ意欲の高い子供たちだと感じました。また、委員会やたてわりなどでも、そのときの六年生と協力し、開一小の高学年として頑張ってくれました。岩井移動教室にも一緒に行き、鴨川シーワールドやキャンドルファイヤーで楽しみましたね。

そして、今年度の4月からは、本校の「最高学年」となった皆さん。日々の生活の中で常に全校の先頭に立ち、頼りになるリーダーとしてこの開進第一小学校を力強く引っ張ってくれました。

- **軽井沢移動教室：**6月の軽井沢移動教室では、学年みんなで協力し合い、絆を深める最高の三日間を過ごせましたね。本物の火を囲んだキャンプファイヤーの輝きは、今も皆さんの心に残っていることでしょう。一人一人が自分の役割を果たし、節度ある生活ぶりに、宿舎の方が「これまでたく

さんの子たちを見てきましたが、開一小の六年生がナンバーワンです。」と最高の評価をしてくださいましたね。

- **運動会**：今年度の運動会は選抜リレーや応援団が復活し、活気溢れる会となりました。組体操はさすが最高学年という団結力と一生懸命練習してきたことを全て発揮し、圧巻の演技でした。演技・競技での活躍はもちろん、一人一人が自分の係活動に責任を持ち、裏方として運動会全体を支える姿は、自分たちがこの運動会をつくるという自覚に満ちていました。
- **音楽会**：いちよう音楽会で皆さんが披露した「スター・ウォーズ」の合奏。その圧倒的な演奏は、下級生たちを驚かせ、魅了しました。鳴り止まない拍手とアンコールは、皆さんの努力とパフォーマンスが会場全体の心を動かした証です。6年生を送る会でも再度披露してくれて、6年生の最後の勇姿を皆で見ることができました。

その他にも委員会やクラブ、たてわり班、皆さんが今年度、本校を引っ張ってくれた功績は、本当に素晴らしいものでした。「皆さんはできる！」これだけ、リーダーシップを発揮して一年間、頑張ることができたのですから。大いに自信にしてくださいね。

感謝の気持ちを言葉に

さて、ここまで立派に成長できたのは、決して自分一人の力ではありません。共に切磋琢磨し、悩んでいるときつらいときに寄り添ってくれた友達、時には厳しく、でも温かくずっと見守ってくれた先生方、そして、今日まで一番近くで深い愛情を注ぎ、支えてくださった保護者の皆様、皆さんの日々の姿を地域から応援してくださった皆様、そういうたくさんの人たちのおかげです。この「小学校卒業」という節目の日に、ぜひ「ありがとうございました」という感謝の気持ちを直接、言葉にして伝えてくださいね。

新たなステージへの期待

4月から始まる中学校生活。勉強も部活動も、新しい環境での挑戦が始まります。不安や緊張もあるかもしれませんが、大丈夫です。皆さんは、あの困難な状況から立ち上がり、これほど立派に開一小を卒業するのですから、そのことに大きな自信をもってください。3年間と短いですが、必ずや皆さん一人一人が成長し、未来への期待、夢を抱く3年間になるはずですよ。

保護者の皆様へ

保護者の皆様、本日は、お子様の御卒業、誠におめでとうございます。冒頭でも申し上げましたが過去に例を見ない小学校入学直後の「休校」、「様々な制限下に置かれた日々の生活」という異例の事態に、さぞ不安も大きかったことでしょう。それでもお子様を信じ、支え続けてこられた六年間。今日、こうして立派に成長した姿を目の当たりにし、感無量のことと存じます。どうぞ、今日はお子様を温かい言葉で包んであげるとともに、保護者御自身にも「よく頑張った。」と

労いの言葉をかけてください。今日で、開一小の保護者もお子様と一緒に卒業という方もいらっしゃることでしょう。どうか、次年度以降は地域から本校を見守っていただけたら幸いです。今までありがとうございました。

結びに

結びに、卒業生の皆さん。140年を超える長い歴史と伝統を誇る開進第一小学校の卒業生として、前を向き、笑顔で、誇りをもって、堂々と羽ばたいていってください。開一小は皆さんの母校、心のふるさとです。さらに成長した皆さんに再会できる日を、私たちはいつでも待っています。

卒業、本当におめでとう。そして、ありがとう。

令和8年3月25日 練馬区立開進第一小学校 校長 海老沼 寛之